

生物起源微量ガスワークショップ2012プログラム

11月21日 会場:琉球大学熱帯生物圏研究センターS110講義室

フィールド観測 I (座長 米村正一郎)

14:00-14:20 大気中硫化カルボニルの観測と変動解析 p4

○齊藤拓也、横内陽子、橋本茂、向井人史 (国立環境研究所)

14:20-14:40 富士吉田アカマツ林樹冠上における窒素酸化物とオゾンの連続観測 p5

○和田龍一¹、中井裕一郎²、高梨聡²、中野隆志³ (¹帝京科学大、²森林総合研、³山梨県環境科学研)

14:40-15:00 小笠原と南大洋で観測したエアロゾル粒子数濃度の日変動 p6

○古賀聖治¹、塩原匡貴²、和田誠² (¹産業技術総合研究所、²国立極地研究所)

15:00-15:20 プロファイリングブイを用いた大気海洋間における有機化合物のフラックス測定 p7

○谷本浩志¹、大森裕子¹、岩田徹²、佐久間博基³、角皆潤³ (¹国立環境研究所、²岡山大学、³名古屋大学)

フィールド観測 I II (座長 齊藤拓也)

15:20-15:40 温帯性シダから放出される塩化メチル p8

○横内陽子、竹中明夫 (国立環境研究所)

15:40-16:00 アラスカクロトウヒ林における簡易渦集積法とチャンバー法によるメタンフラックスの比較 p9

○坂部綾香¹、岩田拓記¹、小杉緑子¹、永野博彦²、原菌芳信^{2,3}、牧田直樹¹、植山雅仁³、高橋けんし¹ (¹京都大、²アラスカ大、³大阪府立大)

10分間休憩

16:10-16:30 北極土壌の微量ガス交換の室内実験 p10

森山明敬¹、○米村正一郎²、岸本文紅²、内田雅己³、大浦典子²、川島茂人¹、児玉直美²(¹京都大学、²農業環境技術研究所、³極地研究所)

16:30-16:50 富士北麓カラマツ林のBVOCフラックスと有機エアロゾル生成に関する研究 p11

○望月智貴¹、宮崎雄三²、高橋善幸³、和田龍一⁴、塩澤竜志⁵、谷晃⁵(¹静岡県立大学生生活健康科学研究科、²北海道大学低温科学研究科、³国立環境研究所、⁴帝京科学大学生命環境学部、⁵静岡県立大学環境科学研究科)

16:50-17:10 コナラ、ミズナラ、ナラガシワの夜間イソプレン放出 p12

○深山貴文¹、小南裕志¹、奥村智憲²、森下智陽³(¹森林総研関西、²京大院エネ科、³森林総研四国)

10分間休憩

微量ガス放出の環境影響・その他(座長 松永 壮)

17:20-17:40 グロースチャンバー実験によるオゾン暴露濃度とBVOC排出量の関係 p13

○近藤明、楠窪義彦、西村弘、乾雄人、井上義雄(大阪大学大学院工学研究科)

17:40-18:00 ウバメガシのモノテルペン放出特性 p14

○谷晃¹、望月智貴²、齋藤亮²、奥村智憲³、Chang Jie⁴、Ge Ying⁴(¹静岡県立大学環境科学研究科、²静岡県立大学生生活健康科学研究科、³京都大学大学院エネルギー科学研究科、⁴浙江大学生命科学研究院)

18:00-18:20 オオバイヌビワにおけるイソプレン放出の温度依存的オン-オフ制御機構解析 p15

○齊藤星耕¹、青山洋昭¹、高嶺朝典²、稲福征志¹、屋宏典¹(¹琉球大学熱帯生物圏研究センター、²琉球大学大学院農学研究科)

18:20-18:40 樹熱帯木のイソプレン合成酵素の遺伝子クローニング p16

○高嶺朝典¹、稲福征志²、福田雅一¹、屋宏典²(¹琉球大学大学院農学研究科、²琉球大学熱帯生物圏研究センター)

※19:00~21:00 (懇親会:生協北食堂)

11月22日 会場:琉球大学熱帯生物圏研究センター

BVOCインベントリー関連研究(座長 深山貴文)

- 9:00-9:20 日本における主要な針葉樹からのBVOC放出に関する研究 p17
○井勢卓也, 奥村智憲, 東野達(京大院エネ科)
- 9:20-9:40 マレーシア半島部における熱帯雨林構成樹種からの揮発性有機化合物の放出 p18
○奥村智憲¹、小杉緑子²、高梨聡³、鎌倉真依⁴、松本一穂⁵、東野達⁶、Elizabeth Philip⁷(¹京都大学エネルギー科学研究科、²京都大学農学研究科、³森林総合研究所、⁴奈良女子大学、⁵琉球大学、⁶京都大学エネルギー科学研究科、⁷FRIM)
- 9:40-10:00 国内優占樹種のスギ・ヒノキから放出されるジテルペン類によるエアロゾル生成量への影響推定 p19
○松永壮¹、茶谷聡²、中塚誠次³、望月智貴^{4,5}、谷晃⁵、楠本大⁶、内海泰弘⁷、榎木勉⁷、日浦勉¹(¹北大研究林、²豊田中研、³NTTデータCCS、⁴静岡県大院、⁵静岡県大環境研、⁶東大演習林、⁷九大演習林)
- 10:00-10:20 針広混交林における根からの揮発性有機化合物(BVOC)フラックスの樹種間比較 p20
○鶴田惇¹、牧田直樹¹、奥村智憲²、小杉緑子¹(¹京都大農、²京都大エネ科)
- 10:20-10:40 陸域生態系モデルを用いた生物起源微量ガスフラックスの広域推定 p21
○伊藤昭彦(国立環境研究所 地球環境研究センター)

※11月22日 エクスカーションスケジュール(見込み)

- 11:00 分子生命科学研究施設前集合
11:20 国立環境研究所辺戸岬大気・エアロゾル観測ステーションの見学出発
12:30 名護にて昼食
14:00 国立環境研究所辺戸岬大気・エアロゾル観測ステーション着
| 見学
15:00 国立環境研究所辺戸岬大気・エアロゾル観測ステーション出発
18:00 那覇おもろ町駅にて解散